

国際交流やまがた

INTERNATIONAL EDUCATIONAL EXCHANGE IN YAMAGATA

YAMAGATA



巻頭言

山形県の国際交流について

山形県国際室長 島 貫 誠

山形県は、アメリカ・コロラド州、中国・黒龍江省、インドネシア・パプア州と姉妹友好関係にあり、これまで、幅広い分野における国際交流、国際協力の取組みを進めてきました。平成26年はパプア州との姉妹県州締結20周年にあたります。

こうした姉妹友好先との交流に加え、近年、新興国の急速な経済発展など経済のグローバル化の影響は本県にも広く及んでおり、多くの国との関係が強まっていることから、それを県内の活性化に結びつけ、県勢をより一層発展させていくことが求められています。そのため、本県では、県産品輸出や観光誘客、県内企業の海外進出支援など、海外との経済交流拡大に向けた取組みを進めているところです。

県では、中国ハルビン事務所、韓国ソウル事務所、シンガポール駐在員の海外3拠点に加え、上海、香港、台湾、ソウルには現地観光コーディネーターを設置して、国ごとに、また言語圏、文化圏に応じた山形県のプロモーション活動等の支援や現地での経済関連情報の収集を行い、経済交流、技術・学術・文化交流の拡大に取り組んでいます。

実際、県内企業が海外展開を図るにあたっては、必要な専門知識を備えると同時に、日本と現地双方の言語、文化及びメンタリティーにも精通する人材が必要です。そのため、県では、海外展開の担い手としての外国人留学生にスポットを当て、県内企業と留学生との接点づくりの取組みとして、①留学生の県内企業でのインターンシップ事業、②留学生を対象とした県内企業合同説明会の開催、など留学生の県内企業への就職に向けた取組みを推進しているところです。

一方、社会経済のグローバル化が進展する中では、引込み思案が県民性とされる山形県民の国際化も求められています。学生諸君が積極的に世界に留学生として飛び出していくことも期待されていますし、周囲を見渡しても、既に114万人の県人口のうち6千人は、中国、韓国、フィリピン、ベトナムなどからの外国籍の県民となっています。

県としましては、今後も山形県留学生交流推進協議会や企業の皆様のご協力をいただきながら、山形県の国際化の取組みを推進して参りたいと考えております。関係機関におかれましても、山形県内で学び、山形県に愛着を感じてくれる留学生の増加、そして世界に目を向ける山形県民の育成に向け、一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

山形での生活、学校生活

山形大学工学部物質化学工学科3年
ガンスフ ゲレル (モンゴル)



日本に来て、大学生活が始まり、初めての一人暮らしを始めました。自立しているつもりだが、一人で辛くて諦めなくなる時がたくさんありました。ですが、人っていうものは辛い時や、難しい時を経験し、だんだん強くなり、成長していくものですね。

山形大学に入って最初の1年間は山形市に住んでいました。今考えると、日本語が不足していて、日常生活や特に学校での講義が分かりにくくて、人とのコミュニケーションをとることができなかった気がします。

全く知らない世界に一人で入ってきたようでした。学校の掲示板を見ることも分かっていなかったので、いろいろなお知らせなどに気づかず、失敗したことも多かったです。

山形市の冬は私が生まれ育ったモンゴルのウランバートル市より雪が多くてびっくりしましたが、2年生になり米沢市に来たら山形市よりもっと雪がすごいことを知りました。雪が多すぎると外を歩くことなどいろいろ不便なことがありましたが、慣れてきました。分からなかった講義や、普通の会話などいつの間にか分かるようになっていて、少しずつ成長していることが嬉しいです。

今は大学3年生で、この3年間日本の生活や、習慣、人の性格にもだんだん慣れてきたと思いますが、まだまだ足りない、できないこともたくさん残っています。

そのため、学生時代に、一人暮らしをしているうちに足りないことを学びたい、強くなりたいので、今後の人生の楽しいことも辛いことも全部のことを楽しみに待っています。

介護の勉強を通して…

東北文教大学短期大学部
人間福祉学科2年
崔 晶 (サイ ショウ) (中国)



私は中国出身の留学生で、2009年4月に日本に来ました。仙台の学校で3年間日本語を勉強しました。日本も中国も高齢化問題を抱えていると思い、2年前から、東北文教大学短期大学の人間福祉学科に入り、介護福祉士の勉強をしています。私にとっては、何もかも難しく、最初はちょっと辛かったのですが、周りの方や先生方にたくさん助けられました。今は、とても感謝しています。

この2年間で、私は特別養護老人ホーム、介護老健福祉施設、デイサービス、グループホームなど、4カ所で実習をしました。実習を通して、介護福祉士はとても大切な仕事だと改めて感じました。高齢者にとっての不便や悩みなどを理解しなければならぬことから、私は相手の立場になって考えることができるようになったと思います。それ以外にも、たくさんの事を勉強することができました。私にとって、実習は大変な経験というより、プラスになる事が多かったと思いました。高齢者に関わることができたことは、大変良い経験でした。これからも、高齢者とたくさんコミュニケーションを図りたいと思います。

3月に卒業したら、私は尚絅学院大学生生活環境学科に進学します。これまでの経験を生かし、自分の目標に向かってもっと頑張りたいと思います。

鶴岡での生活と私

鶴岡工業高等専門学校
物質工学科3年
ピラワン マリサー (ラオス)



私はラオス出身の留学生で2012年4月に日本に来ました。まず、東京で一年間日本語を勉強して2013年4月に鶴岡に来ました。今は鶴岡工業高等専門学校の物質工学科で勉強しています。日本に来てもうすぐ2年になり、鶴岡での生活は慣れてきました。最初、鶴岡に来て私にとって鶴岡はとても面白い住みにくい田舎というイメージしかありませんでした。また、学校の女子寮でも留学生が一人しかいないので、とても心配でした。このとき、私はなかなか慣れることができないのではないかと心配していましたが、女子寮の指導寮生や、学校の職員が分からないことを教えてくれたり、助けてくれたりしたのでとても安心しました。今は鶴岡に慣れて、鶴岡はいろいろ不便なこともあります、自然の豊かないいところだと思います。例えば、鶴岡で見た春の桜は美しいし、秋の紅葉はとても素敵だし、冬の時はとても寒いですが、雪が綺麗だと思います。今まで過ごしてきた鶴岡と山形のことが好きになりました。鶴岡の伝統的な文化祭に参加したり、色々なところを見に行ったりして大変良い経験をしました。鶴岡は綺麗な自然、暖かい友達、美味しい料理、美しい海と山、とても優しい環境でいいところだと思います。これから、鶴岡で生活するうちに、生活のことも勉強のことも頑張りたいと思います。

青春のチャレンジ

東北芸術工科大学デザイン工学部
企画構想学科1年
林 イラン (韓国)



「人生で一番大切なものは速度ではなく方向」という考えで韓国での大学生活を中退し、東北芸術工科大学に留学に来てからもう1年になりました。私と日本との縁は、旅行、日韓青少年交流、国際ボランティア活動などを通じて幼少期から青少年期に渡りより深くなっていきました。もっと大きい夢を持ち、もっと大きなチャレンジをし、もっと学びたいという情熱を持っている私にとって、山形での留学生活は研究したい分野に集中できるとも楽しい毎日です。特に、学期中に課題が提示された時、友達同士が集まってお互いに意見を出し合ってもアイデアがそれぞれ違って重ならないこと、一人一人みんな個性がある独特な意見や考えを伝え合うことは新鮮で刺激的でした。友人として良い関係を築くと同時に、見習うことが多い友達がいることに感謝し、これからの学校生活も楽しんで行こうと思っています。結果的に、勇気を出して実行した私の留学生活は、今の私の人生を以前よりももっと楽しく素晴らしいものに作り上げています。今ある私の時間がどんなに大切なものなのかをよく知っているの、これからも最善の努力を尽くしたいです。そして、大学を卒業する時には今よりもっと成長した人になりたいです。そのためにも、山形での私の目標をはっきりさせて、将来に向けて更なるチャレンジの気持ちで楽しんでいくつもりです。

留学生の教育

「留学生交流拠点整備事業」について

山形大学では、工学部国際交流センター等を中心に、平成24年度から2年間にわたり、文部科学省委託事業「留学生交流拠点整備事業」に取り組みました。この事業は、地方自治体、経済団体、NPO、ボランティア団体などが連携して、外国人学生と日本人との交流を深めながら、地域ぐるみで留学生を支援しようとするものです。現在、全国で10の大学・機関が採択されていますが、山形大学では、特に在学中における地域とのさまざまな交流を通して「山形」への理解を深め、県内企業のグローバル展開の向上と地域の活性化に寄与する人材を育成することを目的としました。

事業は「仕組みづくり」「地域・日本人との交流」「就職支援」「留学生の能力活用」の4つを柱に、多様な活動を行いました。

まず、「仕組みづくり」では、平成20年度に設立した産学官の連携による留学生を支援する「もっとみらいコンソーシアム」に「地域」を加えた活動を目指し、定期的な幹事会の開催や、グローバル化の現状を地域に周知するための講演会や研究会を実施しました。

「地域・日本人との交流」では、ホームステイや、米沢市国際交流協会と共催でのイベントや町内会行事等を通じ、山形人の温かさを感じる貴重な時間を持つことができました。中でも、高校の部活動（ESS部）に定期的に参加した活動は、これまでにない新しい試みであり、高校生が英語の実践力を高めるだけでなく、留学生も日本を知る機会を得る双方向の活動となりました。さらに、日本人大学生と留学生を対象にした、グローバル社会で働くことをテーマにしたワークショップや宮城県での被災地ボランティア活動では、協働で目標を成し遂げることの意義を互いに学ぶことができました。

「就職支援」では、留学生の県内企業への関心や理解を深めるため、県内企業見学ツアーやOB企業訪問、留学生を対象にした県内企業合同説明会を実施しました。現場を知ることで留学生の意識にも変化が起こり、同時に企業側にも、留学生がもたらす効果に少しずつ注目が集まるようになってきました。

そして、4つ目の「留学生の能力活用」では、山形新聞社と連携し、毎週1回、留学生が日本で感じたこと・考えたことをエッセイの形で掲載しました。留学生の豊かな感性が大変ユニークな内容となり、じわじわと人気も出てきました。また、「山形魅力発見」では、山形の魅力を外国人の目線で伝えるべく、県内の留学生が毎月山形各地にある面白そうな場所を公共交通機関を使って自分たちの足で訪れ取材し、ホームページに日本語・英語・中国語・スペイン語で専用ウェブサイトから海外に向けてアピールしました。

これらの活動を通じ、留学生の山形への意識は着実に変化してきており、県内企業への就職に関しても非常に積極的に情報収集を行うようになりました。県民の皆さんにとっても留学生が身近な存在になりつつあるのではないかと考えています。

活動を実施するにあたっては、教育機関、山形県をはじめとする自治体、留学生支援団体等、数多くの皆様に多大なご協力をいただきました。事業を通じ、現場担当者間で顔の見える関係を作ることができたことは大きな成果でした。今回の事業をきっかけにさらに深い関係が構築され、交流の輪が拡大し、留学生の支援や日本人学生のグローバル能力育成、地域の活性化等がなされるよう、今後も取り組んでいきたいと思っております。

留学生交流拠点整備事業

<http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/exchangecore/ja/index.php>



山形食品株式会社における工場見学



ESS部員に英語でロボットの仕組みを説明



町内の祭りで主催者側を手伝う

支援団体の紹介

一般社団法人 米沢工業会の国際交流について



一般社団法人 米沢工業会
理事長
山崎 洋一郎

一般社団法人米沢工業会は山形大学工学部、山形大学大学院理工学研究科に於ける教育・研究・国際交流活動等の支援事業を行い、もってわが国の学術・文化の発展に寄与することを主たる目的とし、この目的を達成するために、会員相互の親睦を図る事業をあわせて行うと定款に謳っております。

本論である国際交流活動については、平成25年度実施事業として下記を行っております。

①国際学会会議研究発表助成（新進教職員、理工学研究科博士前期・後期課程学生）

②留学生対象奨学金助成

（私費留学生への学資、留学生プログラム特別奨学金及び姉妹校・客員研究員交流助成金）

③大学が行う行事、研究活動助成（国際連携サマープログラム、ポリビアのLi開発マネージメント人材発掘と教育広報活動、日独地域間学術・ビジネス・交流等連携促進事業、3Dゲルプリンターに関してのバングラデシュを核とした国際交流事業等）

外国人私費留学生への奨学金助成に際しては、「奨学金受給に係わる誓約書」を受領し1年間の課題計画についての進捗状況を毎月、奨学金を支給する際に報告頂き、コミュニケーションを図っている。

現状は、ローカルな実践であり、一方向の交流である。今後の課題は、グローバルな視点で考え関係する諸団体とのネットワーク構築により、ワールドワイドな真の国際交流を行うことである。



留学生への学資授与式

山形県留学生交流推進協議会 第26回総会・第42回運営委員会(合同会議)

第26回山形県留学生交流推進協議会総会及び同協議会第42回運営委員会が、平成25年11月7日(木)に山形大学にて開催されました。

会議では、文部科学省による所管事項説明のほか、山形県における留学生の受入及び留学生支援等について話し合いが行われました。なお、「県民と留学生との交流会」については、同協議会総会後に開催してきたところですが、これを見直すこととし、平成25年度は村山地域、置賜地域、庄内地域にて各交流事業を開催することで了承が得られました。

山形県留学生交流推進協議会 事務担当者研修会

今回7回目となる山形県留学生交流推進協議会事務担当者研修会が、平成25年12月20日(金)に、山形大学を会場に開催され、6つ機関から19名が受講しました。

この研修会は、各高等教育機関等の職員が留学生の資格外活動等についての入国管理局への申請取次を行うための資格を取得し、留学生への便宜を図ることを主目的として開催しているものです。

研修会では、講師として法務省仙台入国管理局審査部門・伊藤重朗上席入国審査官と吉田仁上席入国審査官を迎え、留学生に係る在留関係諸申請や取次制度等について説明が行われました。



事務担当者研修会

(財)中島記念国際交流財団助成事業 「山形で働こう！日本で働こう！」

(財)中島記念国際交流財団様から助成を受けて、留学生地域交流事業「山形で働こう！日本で働こう！」として次の4つの事業を実施しました。

①7月13日(土)にインターンシップを希望する留学生と企業とのマッチングをするための事前面談を実施しました。延べ15名の留学生が参加しました。

②7月から10月にかけて県内企業での留学生インターンシップを実施しました。延べ12名の留学生が参加しました。

③平成26年1月11日(土)に、留学生を対象とした就職セミナーを開催し、26名の留学生が参加しました。挨拶やおじぎの仕方、面接時の注意点などについてお話がありました。引き続き、留学生の就職活動での留意点などについて説明を受けた後、既に国内企業へ就職している留学生、就職が内定している留学生計2名をパネラーとして経験談などをお聞きしました。

④同日県内企業11社の参加を得て、留学生のための合同企業説明会を開催しました。留学生が各ブースを訪問し、担当者から採用条件などについて説明を受けました。どのブースも終了時刻まで説明を聞く留学生が絶えませんでした。



マナー講座にて



合同企業説明会にて

留学生地域交流事業について

昨年度まで、同協議会総会及び運営委員会合同会議後に実施していた「県民と外国人留学生との交流会」に代わる新たな試みとして、県内各地域において留学生と地域との交流を行う事業をスタートしました。この事業は、高等教育機関という特性を生かし、留学生と地域との交流活動を通して地域の方々に国際理解を深めていただき、山形県全体の国際化の活発化に貢献することを目的として実施するものです。

今年度は、平成26年2月初旬から下旬にかけて、山形市、米沢市、鶴岡市の3地域の小学生と外国人留学生、日本人学生を対象にパネル作成や四季モチーフ・デザートづくり、日本の昔の遊び等、各地域で工夫を凝らした内容で交流を図り、予想をはるかに上回る参加希望に地域の皆様の関心の高さが伺えました。

グローバル化時代が叫ばれる昨今、地域の子供達は今後の日本を担っていく貴重な人材です。子供達をはじめ、より多くの地域の方々にとって、同じ地域にある大学等で多くの留学生が学んでいることに気づき、また、国や言葉が違って仲良く交流できるという発見等につながるものと思っています。来年度以降も、世界へ目を向ける国際理解の好機となるよう、様々な国際交流事業に取り組んで参ります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



「世界のみんと庄内であそぼ! (鶴岡)」

平成26年2月9日(日)

子供達の感想

「他の国の人たちと話せて楽しかった。」
「新しい友達がたくさんできて嬉しい。」
「外国の楽器が演奏できて楽しかった。」 他

留学生の感想

「子供達が可愛くて、交流が楽しかった。」
「次はスポーツを通じた交流もしてみたい。」
「日本人との交流がもっと好きになった。」 他

日本人学生の感想

「国も年齢も性別も違う色んな人達と関わってよかった。」
「非常に有意義な時間を過ごせたと思う。」 他



「つくろう!たべよう!日本の四季 (山形)」

平成26年2月22日(土)



「世界のおにいさん おねえさんとあそぼう! (米沢)」

平成26年2月23日(日)

交流風景



干し柿作り
(アースネットワーク米沢)



外国人留学生・研修生のための異文化交流事業
(国際コミュニケーションレディズクラブ)



被災地ボランティア
(山形大学農学部)



日本文化体験2013
(庄内町国際交流協会・鶴岡工業高等専門学校)



世界をのぞけば
(山形県国際交流協会)



留学生別科課外活動 (山寺駅にて)
(東北文教大学短期大学部)



留学生対象山形県研修旅行
(東北芸術工科大学)



和太鼓体験
(山形大学工学部)

山形県外国人留学生の現況 (高等教育機関関係)

平成25年10月1日現在

(単位：人)

1. 費用別外国人留学生数

区分	山形大学	東北芸術工科大学	東北公益文科大学	慶應義塾大学 鶴岡タウンキャンパス	東北文教大学 短期大学部	米沢女子 短期大学	羽陽学園 短期大学	鶴岡工業 高等専門学校	新庄コンピュータ 専門学校	計
国費	21 (8)	1 (1)						4 (1)		26 (10)
マレーシア政府派遣	20 (4)							7 (0)		27 (4)
私費	168 (79)	10 (5)			13 (9)					191 (93)
計	209 (91)	11 (6)	0 (0)	0 (0)	13 (9)	0 (0)	0 (0)	11 (1)	0 (0)	244 (107)

(注) () 内の数字は、女子で内数。

2. 国・地域別外国人留学生数

(単位：人)

区分	山形大学	東北芸術工科大学	東北公益文科大学	慶應義塾大学 鶴岡タウンキャンパス	東北文教大学 短期大学部	米沢女子 短期大学	羽陽学園 短期大学	鶴岡工業 高等専門学校	新庄コンピュータ 専門学校	計
中国	96 (48)	3 (1)			3 (3)					102 (52)
韓国	17 (2)	5 (3)			7 (6)					29 (11)
マレーシア	21 (4)	1 (0)						7 (0)		29 (4)
モンゴル	4 (2)							2 (0)		6 (2)
インドネシア	13 (7)				1 (0)			1 (0)		15 (7)
タイ	8 (6)									8 (6)
台湾	7 (6)									7 (6)
アメリカ	3 (0)									3 (0)
ベトナム	4 (1)	1 (1)								5 (2)
ミャンマー	3 (1)									3 (1)
バングラデシュ	3 (1)									3 (1)
ブルネイ	4 (3)									4 (3)
ロシア	4 (2)									4 (2)
オランダ	2 (1)									2 (1)
ドイツ	2 (1)									2 (1)
インド	1 (0)									1 (0)
スリランカ	2 (0)									2 (0)
ウガンダ	1 (1)									1 (1)
ケニア	1 (1)									1 (1)
エストニア	1 (1)									1 (1)
ホンジュラス	1 (0)									1 (0)
ジャマイカ	1 (0)									1 (0)
ルワンダ	4 (2)									4 (2)
ベネズエラ	1 (0)									1 (0)
ペルー	1 (0)									1 (0)
ボリビア	4 (1)									4 (1)
イラン		1 (1)								1 (1)
ラオス								1 (1)		1 (1)
フィリピン					1 (0)					1 (0)
ブラジル					1 (0)					1 (0)
計	209 (91)	11 (6)	0 (0)	0 (0)	13 (9)	0 (0)	0 (0)	11 (1)	0 (0)	244 (107)

(注) () 内の数字は、女子で内数。

3. 住居形態別外国人留学生数

(単位：人)

区分	山形大学	東北芸術工科大学	東北公益文科大学	慶應義塾大学 鶴岡タウンキャンパス	東北文教大学 短期大学部	米沢女子 短期大学	羽陽学園 短期大学	鶴岡工業 高等専門学校	新庄コンピュータ 専門学校	計
大学の寮等	139 (66)							11 (1)		150 (67)
公営住宅	7 (2)									7 (2)
民間会社の社員寮	0 (0)									0 (0)
民間アパート等	60 (22)	9 (6)			13 (9)					82 (37)
その他	3 (1)	2								5 (1)
計	209 (91)	11 (6)	0 (0)	0 (0)	13 (9)	0 (0)	0 (0)	11 (1)	0 (0)	244 (107)

(注) () 内の数字は、女子で内数。

山形県留学生交流推進協議会会員名

	機関・団体名	職名等	氏名
高等教育機関	山形大学	学長	結城章夫
	東北芸術工科大学	学長	根岸吉太郎
	東北公益文科大学	学長	町田睿
	慶應義塾大学鶴岡タウンキャンパス	所長	富田勝
	山形県立米沢女子短期大学	学長	遠藤恵子
	東北文教大学・東北文教大学短期大学部	学長	内田英子
	羽陽学園短期大学	学長	研攻一
	鶴岡工業高等専門学校	校長	加藤靖
	新庄コンピュータ専門学校	校長	山科通
国及び地方公共団体	山形地方法務局	局長	伊藤洋一
	仙台入国管理局酒田港出張所	所長	八木良幸
	山形県	知事	吉村美栄子
	山形市	市長	市川昭男
	米沢市	市長	安部三十郎
	鶴岡市	市長	榎本政規
	酒田市	市長	本間正巳

	機関・団体名	職名等	氏名	
経済団体	山形県商工会議所連合会	会長	清野伸昭	
	山形県商工会連合会	会長	小野木 覺	
	山形経済同友会	代表幹事	熊谷真一	
	(社)山形県経営者協会	会長	黒澤洋介	
	山形県農業協同組合中央会	会長	長澤 豊	
	山形県中小企業団体中央会	会長	山本 惣一	
	(公益社団法人)日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会	会長	鹿又源州	
	(公財)山形県国際交流協会	理事長	相馬周一郎	
	山形県青年海外協力協会	会長	加藤和宏	
	庄内国際交流協会	会長	山口吉彦	
国際交流関係団体	山形ロータリークラブ	会長	中村喜兵衛	
	山形北ロータリークラブ	会長	奥山忠道	
	ライオンズクラブ国際協会(332-E地区キャビネット事務局)	地区ガバナー	小林元雄	
	国際コミュニケーションレディーズクラブ	会長	井上みやま	
	(社)米沢工業会	理事長	結城経治	
	(公財)出羽庄内国際交流財団	理事長	榎本政規	
	国際日本文化研究会	会長	飯島武久	
	アースネットワーク米沢	会長	情野芳明	
	その他	(独)日本学生支援機構東北支部	支部長	神田佳和

(順不同・敬称略)
(平成25年11月1日現在)

INTERNATIONAL EDUCATIONAL EXCHANGE IN YAMAGATA

山形県留学生交流推進協議会運営委員会委員名

機関・団体等名	氏名
山形大学 副学長	安田弘法
東北文教大学・東北文教大学短期大学部 国際教育センター長	阿部いそみ
山形地方法務局 人権擁護課長	阿部英和
山形県商工観光部観光交流局経済交流課国際室長	島貫 誠
山形市総務部国際交流センター所長	國井康彦
山形県商工会議所連合会幹事	三澤栄治
山形経済同友会副代表幹事	谷貝幹夫

機関・団体等名	氏名
山形県中小企業団体中央会事務局長	作田和典
山形県国際交流協会総務企画部長	佐藤和雄
山形県青年海外協力協会理事	吉田庸一
山形ロータリークラブ幹事	桂木宣均
山形北ロータリークラブ会長	奥山忠道
山形大学 渉外部長	水井義武
山形大学 渉外部 渉外課長	矢口清

(順不同・敬称略)
(平成25年11月1日現在)

高等教育機関等のホームページアドレス

- 羽陽学園短期大学
- 慶義塾大学鶴岡タウンキャンパス
- 新庄コンピュータ専門学校
- 鶴岡工業高等専門学校
- 東北芸術工科大学
- 東北公益文科大学
- 東北文教大学・短期大学部
- 放送大学山形学習センター

- http://www.uyo.ac.jp/
- http://www.ttck.keio.ac.jp/
- http://sca.core.ac.jp/
- http://www.tsuruoka-nct.ac.jp/
- http://www.tuad.ac.jp/
- http://www.koeki-u.ac.jp/
- http://www.t-bunkyo.jp/
- http://www.ouj.ac.jp/

- 山形県立産業技術短期大学校
[山形校] http://www.yamagata-cit.ac.jp/index3.html
[庄内校] http://www.shonai-cit.ac.jp/
- 山形県立農業大学校 http://ynodai.ac.jp/
- 山形県立保健医療大学 http://www.yachts.ac.jp/
- 山形県立米沢女子短期大学 http://www.yone.ac.jp/
- 山形工科短期大学校 http://www.yit.ac.jp/
- 山形大学 http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html
- 山形県 http://www.pref.yamagata.jp/

2014.3
No. 25

山形県留学生交流推進協議会

事務局 山形大学渉外部渉外課国際交流室内 所在地 山形市小白川町一丁目4番12号
TEL 023-628-4118 FAX 023-628-4849 E-mail rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp